

FUJI XEROX®

# 8080-J Star II



## ある日からデスクワークは突然に。

富士ゼロックスが創造した多機能ワークステーション、ゼロックス8080-JStar II。  
いまだでデスクの上でペンや定規を使って行っていた文章やグラフをこれ1台で作成し、  
信じられないほどの手軽さで処理してしまいます。  
しかも作成した文書やファイルを保管し、必要に応じて検索、更新することもできます。  
それらをやりとりするメールも簡単です。  
つまり、書類の山に埋もれるようなデスクワークはもう過去のはなし。  
もちろん、プログラミングやコンピューター言語を習う必要もありません。  
ゼロックス8080-JStar IIがオフィスの一員となる日。  
その時、オフィスは未来へと歩み始めます。



ワープロ、パソコンの次にくるもの。

# THE WORK STATION

## その日からオフィスはネットワークに。

一連のデスクワークを電子的に処理するゼロックス8080-J Star II。

そのもうひとつの大きな特長は、

イーサネットと呼ばれる通信媒体によりネットワーク化されていることです。

J Star IIを中心に各共有サーバーを結ぶローカルエリア・ネットワークを形成します。

これにより、他のJ Star IIとのメールの送受信をはじめ、

ファイル・サーバー、プリント・サーバー、

コミュニケーション・サーバーとの文書が自由に行なえます。

遠隔地との情報交換にもロスタイムはなく、

オフィス全体を有機的につなぎ、作業の効率を高めます。



J Star IIを中核に各共有サーバー群をつなぐのがイーサネットと呼ばれるゼロックスが開発したローカルエリア・ネットワークです。このネットワークは、将来のシステム拡張にも柔軟に対応できます。信頼性が高く、その情報伝達速度は1秒間に10メガビットです。

「イーサネット」は登録商標の名称で、登録されたネットワークは登録商標の名称で示されています。この名称は、登録されたネットワークにのみ使用されます。また、この名称は、登録されたネットワークにのみ使用されます。また、この名称は、登録されたネットワークにのみ使用されます。

# THE NETWORK



## こんな仕事も画面の中で。 JStar II は多機能な「電子の机」です。

ゼロックス8000-JStar IIのディスプレイには、いつもオフィスで見慣れている道具が絵文字となって並びます。これがゼロックスならではの独創のひとつ「アイコン」です。

そして、アイコンを画面上のカーソルでコントロールするのが「マウス」という指示装置。

書類の保管、検索、プリント、メールの送受信といった作業は、アイコンとマウスを基本に行ないます。

ゼロックスはJStar IIを誰にでも理解しやすい、

使いやすいものにするため、

アイコンとマウスという小さくて、大きなアイデアをもちこみました。

だからこそ、多彩なデスクワークを画面の中で行なうJStar IIを「電子の机」とよぶのです。



### 目録

ネットワーク上に登録されている  
ドキュメントやプリンターなどを  
必要なものを取り出せるいわば  
オフィスの道具箱です。



### レコードファイル

ある情報とそれに付随する情報を  
ある書式でまとめた、  
反復利用価値の高いデータを集めたです。  
ミニデータベースがこのアイコンに定義する  
だけで簡単に構築できます。




### ファイルドロー

ファイルドロー、レコードファイルを  
文書、フォルダー、レコードファイルで  
保管するための「キャビネット」。  
他の使用者と共有利用ができます。



### 受信箱

電子メールの受信箱です。  
他の利用者からネットワークを通じて  
送られてきた文書が入ります。  
その画面は  です。



### フォルダー

オフィスでよく見かける1つ1つの  
「フォルダー」です。  
文書や他のフォルダーを  
保管するファイルです。



### プリンター

このアイコンに文書やフォルダーのアイコンを  
重ねるだけで、ネットワーク上の  
プリンターにその文書が  
プリントアウトされます。



### 送信箱

電子メールの送信箱です。  
ネットワーク上の他の利用者へ文書を  
送りたいときに使います。



### コンバーター

ゼロックス8000IPSで作成した文書、  
レコードファイルをJStar IIの文書、  
レコードファイルに変換します。  
また、JStar IIの文書を  
ゼロックス8000IPSで使用できる  
文書に変換します。



### エミュレーター

JStar IIと、ホストコンピュータ  
の端末側など他の機器との  
文書の隔使用します。



### スプレッドシート

列に行から構成される計算シートです。  
四則演算の基本的な計算から、  
種々の関数による計算を高度で行ないます。



見やすいディスプレイ、  
疲れの少ないキーボード、  
使いやすいマウス。未来オフィスは、  
優れたユーザー・インターフェイスから。

あくまでも「人間中心」の思想と、ハイレベルの  
エレクトロニクス技術の結集で J StarII は生  
まれた。A4 サイズ文書2ページ分を表示  
できる大型のピクチャ・ディスプレイ、使い  
やすいキーボード。そして、画面上的カーソル  
に指示を与えるマウス、そのどれをとっても、使  
う人への配慮と優れた技術がうかがえます。操  
作のあたりも短時間で習得できます。さらに使用  
中に操作がわからなくなった場合はヘルプ  
機能を利用することにより、的確な指示を受け  
られます。J StarII は、つねに使用者と対話し  
ながら作業を進めます。

J StarII は、いままでの仕事と同じ感覚で  
使えます。

J StarII のディスプレイは、キフォスの道具を  
具体的な絵文字としたアイコンが表示されま  
す。このように、使う人の固有の視の上を電子  
的に表現したもの——富士ゼロックスで  
はこれを「デスクトップ」とよび、その考え方  
は J StarII の設計の基本に流れています。情  
報の保管、検索、文書やグラフの作成、プリ  
ント、メールの送受信などオフィスの一連の文  
書処理が、いままでの「机の上」の作業と同じ  
感覚で行なうことができるのも、こうした考えに  
よるものです。

画面の中にオフィスの道具があります。

ここでは先にふれたアイコンの動きを具体的に  
なキフォスワークに即して紹介していきます。  
ファイルキャビネットまで歩いて行き、必要な書  
籍を探し、それを見るために机にもどるといった、  
どこかオフィスでも見かける動作です。これを J  
StarII では次のように行ないます。まず画面  
上のファイルローウのアイコンをマウスで選択し、  
キーボード上の〈開〉キーを押します。これで  
ネットワーク上のドローが開き、収容されて  
いる文書やフォルダーのリストが現れます。  
あとは必要なものを選択し画面によび出す  
だけで、座ったままお望みの文書を見ることが  
ができます。もちろん文書をファイルするのも簡  
単な仕事です。

キーボードは2列で疲れの少ない設計です。  
J StarII のキーボードは文字配列をJIS規  
格に準じた59個のカナ漢字変換用タッチ  
キーと、左右と上部に配した2個のファンクシ  
ョンキーからなっています。キーボードの内  
部にはトーンジェネレーター（スピーカー）を内  
蔵し、誤った操作に対する警報や操作の確認  
音として使われます。また、キーボードのスタ  
イルはタリウムを基調とし、疲れの少ないセ  
ンサ・マウント設計です。



大きくて見やすいから、ラージ・フォーマット・  
ディスプレイ、文書もグラフも鮮明です。  
ディスプレイサイズは17インチ。A4判の文書な  
ら2ページ分表示できる大ききです。80万画  
以上のドットから構成されているディスプレイ  
は多種類の文字や、グラフ、図形などを鮮明  
に表示します。しかも目の位置に合わせて上  
下、左右に動かせるタイル方式を採用、明度の  
調節も自由にできるなど、すみずみまで使う  
人本位の設計がされています。大きく、見やすい、  
そんな意味から、ラージ・フォーマット・ディ  
スプレイ名がついています。

手のひらに入る高性能、マウスはゼロックス  
のデザインです。

キーボードの横に置かれた小さな装置がマ  
ウスです。マウスの底にあるボールの回転によ  
り、ディスプレイ上のカーソルは思いどおりの方  
向に動きます。マウスの上部には選択ボタンと  
調整ボタンがあり、ディスプレイ上の対象を選  
択するには選択ボタン、選択の範囲を決  
めるときには調整ボタンを押します。ほとんどの  
作業はこのマウスで選択ボタン、そして選択した  
ものをどうしたいかという目的のファンクションキー  
を使うだけ。その結果、J StarII のキーボード  
はシンプルで便利なものになっています。また、  
マウスはよく手になじむ使いやすいデザイン。  
“人間中心”の考えをさらに進めただ J  
StarII のマウスです。



8080プロセッサは J StarII の心臓部です。

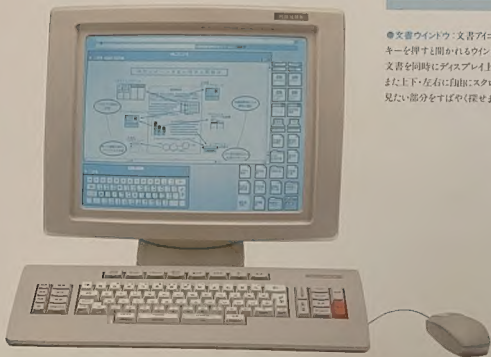
8080プロセッサは J StarII の全体を制御  
する脳部です。このプロセッサと固定ディ  
スク装置を内蔵したユニットは独特のアーキテ  
チャの採用により、信頼性に富み、軽量で  
コンパクトな設計です。文書の作成、保管、検  
索、電子メール、プリントなど、数多くの機能を  
機の下で支えます。ディスク容量は256メガバイト、  
50メガバイトのいずれかをお選びいただけます。



# 多彩に機能する仮想キーボード、 独創的なウィンドウ。 日本語文章も、図形処理も、 JStarⅡは得意です。

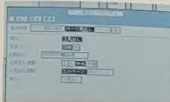
## 多彩に機能する仮想キーボード

JStarⅡのキーボードはほとんどフルです。それは多彩に使えるのは、画面の中にもいくつかのキーボード、仮想キーボードをもつから。つまり、1枚のキーボードで10数種類のキーボードとして使えるわけです。これにより、ひらがな、カタカナ、英、仏、露などの各国語、数字、記号等の入力が行なえます。また、複雑なコマンドはディスプレイの中にメニューとして表示、選択する方式をとり、扱いやすく、高度な情報処理能力を簡単に利用できるような工夫されています。



文章の作成、編集を容易にするプロパティシート。

プロパティシートはマウスで選択した対象物に関する属性などを表示するウィンドウをいいます。プロパティシートには文字、棒グラフ、線など多くのものが用意されています。たとえば、図形の線や色、パターンの種類などを変えたいとき、この中の必要項目を選ぶだけで、ディスプレイ上の表示も変わります。また、プロパティシートは、字種、文字サイズ、マージン、行間隔の変更などを自由に行なえます。文章の編集が容易に行なえます。プロパティシートの選択をマウスで簡単にできるのもJStarⅡの特長です。



JStarⅡの操作をより正確に、簡単に。

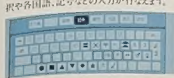
ウィンドウの機能がいっぱいあります。

●メッセージエリア：操作をする最中に出現するウィンドウです。JStarⅡからのメッセージを加えます。

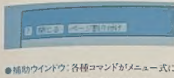


●文章ウィンドウ：文章アイコンを選択して(開)きを押すと開かれるウィンドウ。6枚の異なる文章を同時にディスプレイ上に表示できます。また上下・左右に自由にスクロールできるので、見たい部分をすばやく探せます。

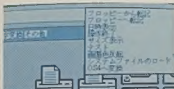
●キーボードウィンドウ：キーボードの形をした絵を表示するウィンドウ。同音異義語の選択や各国語、記号などの入力が行なえます。



●コマンドメニュー(可視メニュー)：通常と違うコマンドが表示されています。必要なものをマウスで指示するだけで選択できます。



●補助ウィンドウ：各種コマンドがメニュー式に表示され、マウスの指示で選択できます。



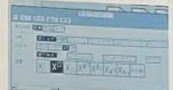
JStarⅡは2つの辞書をもっています。

約10万語を記録した漢字変換用に用いられる基本辞書。そして使用者がニーズに合わせてもう一つ辞書があります。

JStarⅡは約7,000種類の文字を使えます。

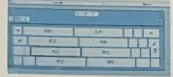
JStarⅡが使える文字はJIS第1・第2水準漢字、ひらがな、カタカナ、英文、露文、ギリシャ文字の各国の各文字、数字、記号など約7,000種類。字体、サイズも豊富で、日本語用として明朝体、ゴシック体、改行用としてイタリック体、ボール体などが用意されています。サイズは8・10・12・14・18・24ポイント(横断)・字体はすべて異

なり。また、これらの字体、サイズの指定は、文プロパティシートでマウスで選択することができます。

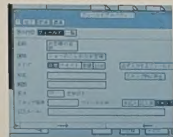


JStarⅡの漢字変換方法は2種です。

JStarⅡはかな漢字変換方式とローマ字かな漢字変換方式の2つから、使いやすさを優先します。また日本語に特有の同音異義語は、同じ漢字でも表示、これをマウスによる選択はもちろん、キーボード上での対応するキーボードを押すことにより選択することもできます。



フォーム作成を簡単にするスクリーンとフィールド。フレームとは文章中の任意の場所に見出しや図形の入るスペースを確保するエリアのこと。フィールドとは定形の文章の5%で示す可変部分をいいます。この2つを利用してビジネスフォームが簡単に作れます。



テーブル機能は作業を容易にします。

テーブル機能を用いることにより、複雑な表も短時間ででき、その修正作業も簡単です。またテーブル自体の自動演算機能、スレッド機能、棒グラフ機能、そしてレコード処理機能と組み合わせると情報の多量な活用や高度な文章作成が可能です。

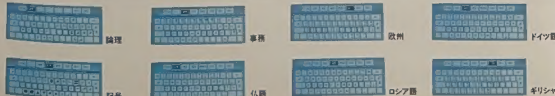


簡単にグラフや図形が作れます。

JStarⅡはグラフや図形入りの文章を書く、美しく、簡単に作ります。使用者は用意された基本転写図形から適切なものを選び、マウスを用いて描きたいグラフィックに加工します。また「棒グラフプロパティ」を利用すれば、棒グラフに必要なデータをインポートするだけで自動的に作成されます。さらに一度作成した図形を転記することも簡単です。



## 代表的な仮想キーボード





## デスクを離れず、ファイルやプリント、メールを指示。 JStar IIなら文書管理も簡単です。

文書を作成する能力に加え、JStar IIの大きな魅力に文書管理する働きがあります。オフィスシステムとして最も大切なことは、日々、発生する膨大な文書情報いかに簡単に保管し、検索し、伝達するか。JStar IIならこうした一連の作業をきわめて簡単に処理します。ファイルを探し、それを見てまた元にもすらすらデスクを離れる必要はありません。作成した文書のプリントやメールも簡単な指示で行なえます。しかも、文書を開いて見ることができるとは、あらかじめ登録している人だけですので、機密の保持は万全です。



### 4種類のファイルを用意しています。

文書管理に使用されるのが、下のアイコンです。具体的な絵・文字で表示しているの、ひと目でわかります。



マルチウィンドウにより、最大6枚の文書を表示します。

実際に文書を作成する際、机の上に資料を並べ替える感覚で、画面上に5枚までの文書やファイルリストを同時に表示することができます。また、文書とレコードファイルを互いに関連させることが可能です。たとえば、文書と作成した受け取り宛てにレコードファイルに登録されているリストを指定することや、文書の中のパターンだけをレコードファイルに転記することも可能です。



### 文書の機密保持対策も万全です。

ネットワーク上の他の利用者に自分の文書を見られることはありません。JStar IIを使う限り、

自分の名前と一緒にパスワード(暗号)を打ち込む必要はありません。其の他のファイルワークにも必要に応じて検索可能者を限定でき、機密保持は万全です。



### メールの送信・受信が手軽にできます。

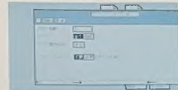
JStar IIは文書の電子メールを送信箱、受信箱のアイコンを使って行ないます。受信箱のアイコンをクリックし、自分の宛てに届いたメールを見ることができます。メールを送りたいときは、その文書をマウスで選択し、送信箱のアイコンに重ねます。あとは相手の名前を打ち込み、デスクトップ上にながら相手の受信箱に配達されます。



### 文書のプリント指示も簡単です。

文書をプリントしたいときは、その文書のアイコン

をプリンターのアイコンに重ねます。自分のJStar IIから、プリント指示をすればネットワーク上の任意のプリンターが、その文書をプリントアウトします。



### JStar IIはレコード処理も簡単です。

レコードファイルの内容を一覧にしたいときは、ビューと呼ばれる窓画面を開きます。人事ファイルを開くと、住所、入社年月日など、すべての項目を表示したビューを作ります。この「給付」というひとつの項目を表示したビューを作るとしても構いません。さらにこのビューを見ながら、レコードに含まれるデータの処理、すなわちレコード処理を行なうことができます。たとえば、社員番号順に並んでいるレコードを「あいうえお」順に並び替えといった配列の変更、さらに30代で営業のキャリアがある者といった、特定の条件に当てはまるレコードだけを選び出すことも簡単にできます。

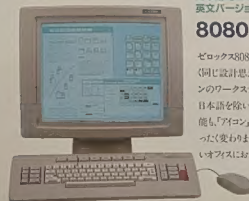


日本語処理を必要としないバリエーション。  
英文バージョンワークステーション。

## 8080 Star II 25MB 50MB

ゼロックス8080 Star IIは、JStar IIとは全く同じ設計思想から生まれた英文・バージョンのワークステーションです。JStar IIは、日本語を扱い、マシンで、その他の長所、性能も「アイコン」が「マウス」などのアイデアもすべて受け継ぎ、日本語処理を必要としないバリエーションにします。

※画面上のアイコンは、任意の図形に置き換えることができます。  
※ハードウェアとして、ハードディスク・フロッピーディスク・プリンターが必要です。



# ファイリング・プリンティング・ホスト・コンピュータとの やりとり。J Star II は各種情報機器と連けいて、 これからのオフィス情報処理システムをつくりあげます。



## 8080 File Server 50MB/BOMB ●●●●

ファイル・サーバーの主働機は、電子ファイルの管理は電子メールの中継です。電子ファイルは、いわばオフィス・キャビネット、ネットワークを通じて、どこからでも情報の出入りができます。情報の共有化、つまり情報をばらばら利用して、効率的なファイル管理システム構築できまう。もちろん検索保持のためにアクセス権の設定もできます。電子メールは、いわばポストです。ワークステーション間の情報交換が自由に行なえ、オフィスでのメール配達も短時間に電子的に処理できます。ファイルする量に応じて50メガ・バイト(80メガ・バイト)の2タイプを用意されています。



## 8037 File Server 80MB/MULTIDRIVE(BOMBX4) ●●

ゼロックス8037ファイル・サーバーは、80メガ・バイトのフル・パフォーマンス・ディスクを備え、オフィスでの情報量の増大に対応します。オフィスは共有キャビネットとして、より多くの情報を収容できます。また、最大4ドライブまで拡張できますので、さらに大規模な情報処理が行なえます。そのうちの一つをファイルのバックアップ用として接続すれば、情報の安全性は一役を担います。もちろん電子メール機能なども、ゼロックス8080ファイル・サーバーと同様です。



## 8080 Print Server 50MB/80MB ●●●●●●●●●●

8080 Multi-function Server 50MB/80MB ●●●●●●●●●●

ゼロックス8080プリント・サーバーは、ゼログラフィック・及びレーザー技術から生まれた高性能プリンターです。ワークステーションで作成・編集した文書や、どんな遠隔地へも、毎分1ページのスピードで、1mmから12インチのすべり解像度で鮮明にプリントアウトします。使用できる文字種は漢字・数字・英数字を含む約7000字、サイズ6・8・10・12・14・18・24インチ(種類により異なる)といふ用途に威力を示します。ワークステーションのディスプレイに現れたイメージそのままにアウトプットするので、業務を効率的に処理し、オフィスの生産性を高めます。



ゼロックス8080マルチ・ファンクション・サーバーは、ファイル・サーバーの機能と、プリント・サーバーの機能を、同時に合わせたサーバーです。これにより、最小システム構成によるコストダウンを図ることができます。8080プリント・サーバー及び8080マルチ・ファンクション・サーバーの容量は、50メガ・バイト(80メガ・バイト)の2タイプ。また、それぞれに、レーザー・プリンター・XP-9を接続したシステム・レーザー・プリンター・M-35を接続したシステムの2種類が用意されており、オフィス環境、業務の内容に応じて、最適なシステムが選べます。

● 8037ファイル・サーバーは、80メガ・バイトのフル・パフォーマンス・ディスクを備え、オフィスでの情報量の増大に対応します。  
● 8037ファイル・サーバーは、80メガ・バイトのフル・パフォーマンス・ディスクを備え、オフィスでの情報量の増大に対応します。  
● 8037ファイル・サーバーは、80メガ・バイトのフル・パフォーマンス・ディスクを備え、オフィスでの情報量の増大に対応します。



## 8080 Communication Server ●●●●●

ゼロックス8080コミュニケーション・サーバーは、通信はなればインターネット・ネットワーク同士をつなぐ、情報交換、ファイルの共有化を特長として行ないます。また、他の情報機器との情報交換、特にホスト・コンピュータと接続することによって、オフィスの情報ネットワークをますます有機的に拡大します。

## 873 C.I.U.(Communication Interface Unit) ●●

ネットワーク上において、8080コミュニケーション・サーバーの交通機能を拡大する働きをします。ホスト・コンピュータ、パソコンなど古くは20年までの他の情報機器との情報交換が可能です。

## ● 8037ファイル・サーバーの主な仕様

主記憶	128KB, 256KB (256KB)
フロッピーディスク	1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト) 5.25インチ(5.25インチ)
固定ディスク容量	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
機械的サイズ	幅25cm×奥行18cm×高さ20cm
機械的質量	25kg
最大消費電力	250W

## ● ファイル・サーバーの主な仕様

システム・バス	128KB
システム・バス	128KB×256KB×1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト)
固定ディスク	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
フロッピーディスク	1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト) 5.25インチ(5.25インチ)
機械的サイズ	幅25cm×奥行18cm×高さ20cm
機械的質量	25kg
最大消費電力	250W

## ● ファイル・サーバー・プリンター・サーバーの主な仕様

キーボード	AISC型
文字	アルファベット・数字
機械的サイズ	幅25cm×奥行18cm×高さ20cm
機械的質量	1.8kg

## ● プリンター・M-35の主な仕様

印字方式	レーザー・ビーム・タイプ
印字速度・印字密度	1000/分 (1200/分 max. 1000/分)
印字	全角漢字・カタカナ・アルファベット
紙張	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の長さ	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の幅	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の長さ	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の幅	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
最大消費電力	1.8kW

## ● プリンター・XP-9の主な仕様

印字方式	レーザー・ビーム・タイプ
印字速度・印字密度	1000/分 (1200/分 max. 1000/分)
印字	全角漢字・カタカナ・アルファベット
紙張	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の長さ	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の幅	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の長さ	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
紙張の幅	1.7インチ×1.7インチ (1.7インチ)
最大消費電力	1.8kW

## ● FUJIX 8037 File Server の主な仕様

主記憶	256KB (256KB)
フロッピーディスク	1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト) 5.25インチ(5.25インチ)
固定ディスク容量	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
機械的サイズ	25kg

## ● プリンター・XP-9の主な仕様

システム・バス	128KB
システム・バス	128KB×256KB×1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト)
固定ディスク	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
フロッピーディスク	1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト) 5.25インチ(5.25インチ)
機械的サイズ	幅25cm×奥行18cm×高さ20cm
機械的質量	25kg
最大消費電力	250W

## ● FUJIX 8037 C.I.U. の主な仕様

システム・バス	128KB (256KB max. 1000/分)
システム・バス	128KB×256KB×1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト)
固定ディスク容量	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
機械的サイズ	25kg
最大消費電力	250W

## ● FUJIX 8037 C.I.U. の主な仕様

システム・バス	128KB (256KB max. 1000/分)
システム・バス	128KB×256KB×1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト)
固定ディスク容量	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
機械的サイズ	25kg
最大消費電力	250W

## ● 8037ファイル・サーバーの主な仕様

システム・バス	128KB
システム・バス	128KB×256KB×1.2メガ・バイト(1.2メガ・バイト)
固定ディスク容量	50メガ・バイト(80メガ・バイト)
機械的サイズ	25kg
最大消費電力	250W



# FUJI XEROX 8080-JStarIIの主な仕様

8080プロセッサ		ラージ・フォーマットディスプレイ	
主記憶	576K Word (1.15MB)	ビューアサイズ	17インチ
フロッピーディスク	1.6メガバイト(5¼インチ両面高密度倍トラック)	表示サイズ	1,024ドット×808ライン
固定ディスク容量	26メガバイト(5¼メガバイト)	走査方式	ラスタースキャン方式
機械の大きさ	幅20cm×奥行69cm×高さ62cm	カラー	白黒
機械の重さ	23kg	機械の大きさ	幅44cm×奥行35.5cm×高さ44.3cm
キーボード/マウス		機械の重さ	11.4kg
キー配列	JIS準拠かな漢字変換用キーボード	使用条件	
トーンジェネレーター	音量調整可	電源	AC100V±10V 50/60Hz±0.5Hz
マウス	ボタン数2(選択ボタン、調整ボタン)、セミオプティカル方式	最大消費電力	330W
機械の大きさ(キーボード)	幅46.8cm×奥行20.2cm×高さ4.7cm	温度	10～35℃(動作時)
機械の重さ(キーボード)	2.3kg	湿度	20～80% RH(動作時)

# FUJI XEROX 8080 StarIIの主な仕様

8080プロセッサ		ラージ・フォーマットディスプレイ	
主記憶	576K Word (1.15MB)	ビューアサイズ	17インチ
フロッピーディスク	1.6メガバイト(5¼インチ両面高密度倍トラック)	表示サイズ	1,024ドット×808ライン
固定ディスク容量	26メガバイト(5¼メガバイト)	走査方式	ラスタースキャン方式
機械の大きさ	幅20cm×奥行69cm×高さ62cm	カラー	白黒
機械の重さ	23kg	機械の大きさ	幅44cm×奥行35.5cm×高さ44.3cm
キーボード/マウス		機械の重さ	11.4kg
キー配列	JIS準拠アルファベット・メトリックキーボード	使用条件	
トーンジェネレーター	音量調整可	電源	AC100V±10V 50/60Hz±0.5Hz
マウス	ボタン数2(選択ボタン、調整ボタン)、セミオプティカル方式	最大消費電力	330W
機械の大きさ(キーボード)	幅46.8cm×奥行20.2cm×高さ4.7cm	温度	10～35℃(動作時)
機械の重さ(キーボード)	2.3kg	湿度	20～80% RH(動作時)

※地震計対策キットも用意しております。

※製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

# XEROX

富士ゼロックス株式会社  
本社〒107東京都港区赤坂3-3-5  
電話03(585)3211



品質管理の最高賞  
デミング賞受賞'80

●お問い合わせは…

富士ゼロックスに対するご意見、お問い合わせ、苦情

- などは最寄りのお客様相談センターへご連絡ください。
- 札幌 (011) 241-0414
  - 名古屋 (052) 571-9061
  - 仙台 (0222) 24-8211
  - 大阪 (06) 264-7211
  - 東京 (03) 586-4100
  - 広島 (082) 222-2400
  - 新潟 (0252) 43-8080
  - 福岡 (092) 291-2266
  - 静岡 (0542) 84-8080
  - 高松 (0878) 31-8080

なお、東京以外のお客様相談センターへのご連絡は、自動転送により本社（東京）でも受け付けます。その場合の受付地へ本社の電話料金は、弊社で負担させていただきます。

※自動転送には約20秒ほどかかります。

XEROXは登録商標です。 宜GE-972 '84.10.'85.12